

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都駅東開発計画 新築工事	階数	地上9F地下1F
建設地	京都市南区東九条東山王町15番・15番2	構造	S造
用途地域	商業地域、準工業地域、防火地域	平均居住人員	301人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2017年12月25日
敷地面積	506㎡	作成者	大和ハウス工業株式会社 京都支社 流通一般建築士事務所 河原田 とも代
建築面積	325㎡	確認日	2017年12月27日
延床面積	2,922㎡	確認者	大和ハウス工業株式会社 京都支社 流通一般建築士事務所 河原田 とも代



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算 ★★★★★

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

項目	スコア
Q1 室内環境	2.7
Q2 サービス性能	2.6
Q3 室外環境 (敷地内)	2.2
LR 環境負荷低減性	3.3
LR1 エネルギー	3.7
LR2 資源・マテリアル	3.0
LR3 敷地外環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
客室の遮音性を高めると同時に、広い開口部により豊かな採光を確保することで快適に過ごせる室内環境を目指した	特になし
Q1 室内環境 広い開口部により豊かな採光を確保	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管材を使用
Q3 室外環境 (敷地内) 特になし	LR2 資源・マテリアル 節水型水栓、節水型便器を採用している
LR1 エネルギー LED照明の採用	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率=77%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される